



波動ケア ホメオパシーメソッド

症状別レメディー一覧

ロータスホメオパシーセンター

喉の痛み

- Aconite (アコナイト)

突然始まる、寒さで悪化、乾燥した舌、特徴的な熱と不安
焼けるようなチクチクした感覚、しびれ、落ち着きのなさ、喉の渇き
声がれ

- Apis (エイピス)

飲み込む時の焼けるような刺すような痛み、硬いもの・酸味のある
もの、熱いもので悪化、喉が渇かない、喉がむくんでいるように
見える

- Arg-nit (アージニット)

話し始めに乾いた喉、(歌手や講師や呼び込みする人など)、高音
が咳の原因、慢性的な声がれ、棘が刺さったような感覚

- Belladonna (ベラドンナ)

炎症を起こした鮮紅色の喉、右側、絶えず飲み込んでいたい、飲み込むことが喉の痙攣を起こし、痛みが強い、痛みは飲み込むときに耳を撃つよう、液体を飲みたくない

- Bryonia (ブライオニア)

症状がゆっくり進む、風邪を引いたり、過熱状態の後、氷のような冷たいものを夏に飲んだり食べたりした後、喉の乾燥は飲み込むことで悪化、過敏性、普通喉が渴き冷い飲み物を欲しい、さしこみ痛

- Hepar sulph (ヘパーサルフ)

喉のところに魚の骨などが刺さったようなチクチクする痛みがある、痛みが飲み込んだときに耳の方に走る感じがある、扁桃腺が腫れ、膿が出ている、夜に悪化、暖めることで痛みが楽、非常にイライラ、寒さに敏感

- Ignatia (イグナシア)

飲み込んでいない時の喉のさしこみ痛、硬いものを飲み込むと痛みが和らぐ

- Kali bic (カリービック)

慢性的な喉の鬱血状態、後鼻孔からの糸を引くような粘液を分泌、舌を突き出すと余計に喉が痛む

- Lachesis (ラカシス)

左側が痛い、右側に痛みが移動する、起きた時、寝た後に悪化、喉が収縮するのを感じたり、触れることに敏感、痛みは温かい飲み物で悪化、唾を飲み込むと悪化、喉が焼けるよう、塊より液体の方が飲み込むとより痛む

- Mercurius (マーキュリー)

急性もしくは慢性の咽頭炎に使う、唾液が増加、痛みが耳まで行ったり、リンパ腺まで行く、何かを飲み込むときに痛みが悪化、液体を飲むことが難しいと感じる、扁桃腺の部分に潰瘍が出来ている。

- Nat-mur (ナトラムミュリアティカム)

喉がとても乾燥しているが、絶えず薄い透明な塩気のある粘液を咳払いする、まるで喉が塞がれているよう、液体のみ飲み込める、抑えられない喉の渇き、夕方に悪化

- Nux-vomica (ナックスボミカ)

何かを飲み込んだときに喉に蓋をされているような感覚、喉がひりひりざらざらして何かにつっかかっているような感覚、冷たい空気で悪化、唾液を飲むことで悪化、喉の部分に潰瘍が出来て臭う

- Pulsatilla

喉が乾燥しているけれども、喉は渴かない、何かを飲み込んでいないときのほうが悪化、飲むほうが楽、喉の部分に圧迫が加えられると悪化



扁桃腺炎

- Aconite (アコナイト)

腫れ上がって暗褐色に炎症を起こしている、熱を伴う、何かを飲み込むことが困難で痛みを伴う、喉がひりひりしてチクチクする痛みがある

- Apis (エイピス)

扁桃腺が非常に炎症を起こしていて刺すような痛みがある、暖めることで悪化、口と喉が乾燥しているけれども喉は渴かない、扁桃腺と喉の口蓋の周りに潰瘍が出来て腫れ上がっている

- Belladonna (ベラドンナ)

扁桃腺が炎症を起こして腫れ上がり、鮮赤色、右側に症状が出る
ことが多い、潰瘍を作るのが非常に早い、喉が乾燥していて熱い
感じ、口呼吸をすると悪化、急性で膿んだような扁桃腺が多い

- Baryta carb (バリタカーブ)

化膿した扁桃腺炎、特に風邪を引いた後の幼児と子ども、慢性的な
扁桃腺の肥大、風邪を引く度に扁桃腺に影響が出る

- Hepar sulph (ヘパーサルファー)

慢性の扁桃腺、もしくは何度も急性の扁桃腺を繰り返す、難聴に
なっていることも多い。口臭がある。温かくしたり、温かいものを飲む
と好転、魚の骨が刺さっているような感覚がある、喉に刺すような
痛みがあって、耳まで広がる

- Lachesis (ラカシス)

喉が紫っぽい色、飲み込む時に咳き込む、症状は午後4時に悪化、左側から右側に移動、首の周りに襟があるのが堪えられない、喉を触られるのが嫌、暖かい飲みも物で悪化、寒さで好転

- Lycopodium (ライコポディウム)

右側、左に移動、小さな潰瘍を伴う慢性的な扁桃腺の肥大、温かさで悪化

- Mercurius (マーキュリー)

汗をかいても楽にならない、一旦潰瘍が出来ると膿が出るのも早い潰瘍が出来るとには時間がかかる、潰瘍を作っている間は痛みがない、リンパ腺が腫れる

風邪と感冒

【初期】

- Aconite(アコナイト)

冷たい乾燥した空気に当たったことが原因、突然始まる、眠気と高熱、鼻が乾燥して鼻水が出ない、もしくはくしゃみを伴う鼻水がたくさん出る場合もある、喉が渇く、恐怖心が強く不安があって落ち着かない、**Aconiteでないのに、Aconite を使い続けることで肺炎になってしまう場合もあるので気をつけること**

- Ferrum phos(フェーラムフォス)

Aconiteのように熱を出す但症状はゆっくり、不安や落ち着きのなさはない

【定着した状態】

- *Alium cepa* (アリウムセパ)

大量の水っぽい鼻水と目からの分泌物、鼻水が流れる、焼けるようにヒリヒリする、目からも無刺激の分泌物が流れる、喉頭をつかむような猛烈な咳

- *Arsenicum* (アルセニウム)

鼻詰まり、酸の強い鼻水が出る。鼻の中の一箇所を羽のようなものでくすぐられているような感じのくしゃみ、高熱が出た場合、血管の中で血液が煮えたぎっているような感覚、非常な寒気、炎を抱きしめたいような感じ、隙間風、冷たい空気、真夜中以降に悪化、暖めること、熱い飲み物、温湿布で好転、前頭部の頭痛、落ち着かない、不安、恐怖感がある、ひりひりするような痛み、暖めることで好転、
非常な
疲労感、とても喉が渇くが、ちびちび飲む

- Bryonia (ブライオニア)

鼻かぜから始まる、鼻水、涙が出る、目が痛いなど、鼻の後、喉、気管支に痛み、最終的には肺炎、肋膜炎になる風邪、鼻の中が乾燥しているか、黄色い鼻水が出る。鼻詰まりから来る頭痛、乾燥した痙攣を起こすような咳、咳は夜に悪化、食後、何かを飲むこと、温かい部屋に入ることなどで悪化、咳に頭痛、胸痛を伴う。口の中が乾燥する、喉が渴くので水を大量に飲む、イライラして一人になりたがる、体中が痛い、副鼻腔炎になることもある、くしゃみを伴う、頭痛を伴う、ちょっとした動きで痛みが増す

- Gelsemium (ジェルセミウム)

暖かい湿った天気で鼻かぜ、何かを飲み込むと耳まで痛い、鼻腔が痛くて赤くなる、鼻水によってヒリヒリする、感染してから何日かして症状がでる、熱が出る。筋肉痛、虚弱、だるい、非常な疲労感、寒気が背中を上下する、瞼が重くなり下がる、熱は出るが喉は渴かない、頭痛は後頭部か前頭部、もしくはその両方にある、興奮状態、神経過敏、予期不安、静かにしていたい、一人になりたい

- Hepar sulph(ヘパーサルファー)

寒くて乾燥した天気が原因。鼻の炎症から来る鼻かぜ、鼻が痛い、まるで鼻の中にできものがあるような痛み、鼻、喉、胸の粘膜に炎症が来る、鼻水は、最初は透明なさらさらしたものだが、段々黄色く臭うようになる、咳とくしゃみ、冷たい風で悪化、冷たい空気を吸い込むこと、冷たい飲み物、包まれないことで悪化、一晩中汗をかく、皮膚は湿っぽい感じ、触られることに過敏、痛み、隙間風にも過敏、湿った生ぬるい天気で好転、ほえるような咳で痛みがある、早朝に咳は悪化、神経過敏で気難しく怒りっぽい、不安が強い、膿が出ることが多い

- Kali bic(カリビック)

濃い黄色いまたは緑がかった糸を引く粘液、鼻の根元に乾燥した重苦しい痛み、鼻からまたは咳としてプラーク(班)を吐き出す、くしゃみ、外気や冷たい空気で悪化、寝床の温かさで好転、咳はひどく、喉の粘着性の粘液を吐いてガラガラいう、夏の暑さで悪化

- Mercurius (マーキュリー)

Hepar-sulphに近い、始めにむずむずするような寒気、鼻水がネバツとしていて、体臭が強い、イライラするような咳、副鼻腔炎、寒い部屋

も暑い部屋も悪化、臭う大量の汗、但し、汗をかいても良くはならない、口臭、鼻が赤く腫れ上がる、粘液が塩味、甘い味、金属的な味、腐ったような味、鼻水が喉に落ちて、それが咳の原因となる、乾燥した咳が多く、夜に悪化、ベッドに入るとその温かさで悪化

- Nat mur (ナトラムミュリアティカム)

水っぽい、白い鼻からのカタル、または卵の白身のような糸を引くような、けいれん性のくしゃみ、咳 (Causticumのような自制できない咳)、咳と頭痛、水っぽい小疱が鼻や唇にできる

- Phosphorus (フォスホラス)

鼻風邪が流れるような場合と止まる場合と交互、鼻からの分泌物が乾いている、血の混じったかさぶた、頭痛からくしゃみ、咳は乾いた感じで痛みがあり。ひどく苦しく、消耗する(外気や喋ること、泣くこと、喉を触ることで悪化)、胸部に主に止まる、Gelsemiumのように風邪の後に良い、夜の同じ時間に繰り返す擬似クループ、冷たい食べ物と飲み物で好転、喉頭部が痛く、乾燥して、ヒリヒリする、話せない(声枯れ)

- Pulsatilla (プルサティラ)

乾いた鼻かぜ、鼻水のでる鼻かぜ、鼻腔や鼻の中がヒリヒリ。黄緑色の分泌物、外気で好転、粘液を出すことで好転、締め切った部屋で悪化、症状が非常に変化し易い、喉が渴かない、涙もろくなって仲間を欲しがると好転、顔が青白くなる、頭が混乱、前頭部の頭痛

- Rhus-tox(ラストックス)

寒くて湿った天気で悪化、汗をかいた後にも悪化、ひどい鼻かぜ、喉を見ると赤くて腫れ上がっている、鼻が乾燥して流れなくなる感じ、暖かいことで楽になる、粘液がどろっとして黄色い、声が嘎れてざらざらしている、声の出始めが出にくい、しゃべり続けていると良くなる、包まれないことで悪化、骨が痛い、体勢を変えることで好転、くしゃみと咳、胸骨の後ろ側がくすぐったい感じがする

インフルエンザ

- China (チャイナ)

疲労感、衰弱、寒気、周期的(数日置きに悪化)、触られること、感情、

冷たい空気に過敏、体を伸ばしたい、動きたい、体の位置を変える

- Eupatorium per (エウパトリウム)

鼻風邪、くしゃみ、熱(寒気と熱の間と前にむやみに喉が渴く)、骨の強い痛み(Rhus toxも、特に背中、手首、足首)、絶えず体の位置を変えたいが痛みはそれで良くなる(悪化する)、目が動く
と痛む、吐く、吐き気、衰弱、咳(喉頭の痛み、声枯れ、頭が痛み、粉々に壊れるように感じて胸を抱える)

- Oscillococcinum(オキシロコチナム)

特に感冒で消化器系に問題が起こる、感冒の予防としても使える、胃が腫れる、嘔吐、腐敗したゲップ、腹部の痙攣が悪臭を放つ下痢に続いて起こる、鼻腔粘膜の炎症、鼻声、失声症、乾燥、痛みのある咳、くしゃみ

咳

- Aocnite (アコナイト)

突然始まる、夜中に突然目が覚めて咳き込む、呼吸困難、窒息するような感じ、喉が詰まったような感じ、顔が赤くなる

- Ant-tart (アンティタート)

固い、ゆるい、がたがた言う咳、痰が絡む、咳き込んだ後に吐く、怒ることで咳が悪化、午前4時に悪化、咳とあくびが交互に出る、呼吸困難を伴う咳、吐くものは食べ物ではなく泡立った白いもの、酸味の強い果物、特にりんごを欲しがる、舌が厚ぼったく、白く、ぶよぶよした感じ、舌が赤いか、線が走っているような感じ、うとうととして朦朧とする、眠気に勝てない、子供だと抱っこしてもらいたがる、可哀想だと思ふような泣き方をする、イライラする、触られたり見られたりすることで悪化

- Drosera (ドロセラ)

周期的な咳、ほえるような深いところからくる咳、絶え間なく咳き込む百日咳にも使う、しゃべること、ため息をつくことで悪化、午後、夕方、真夜中以降で悪化、30Cを使うが、1日2回(12時間に一度)までしか使えない、これを超えると強い好転反応が出る可能性がある、心臓に負担がかかる

- Ipecacuanha (イペカクアンハ)

酔い止めに良く使う、絶え間ないひどい咳、呼吸の度に咳き込む、ガラガラいう咳、絶えず吐き気がある、中々はけないが吐くと楽になる、食べ物への嫌悪感、喉が渇かない、イライラする、子供はイライラして叫び声を上げる、機嫌を直すのが難しい、舌は綺麗だが先っぽが赤くなる、唾液を伴う吐き気、どんな症状にも吐き気がつきまとう、吐き気と縁の深いレメディー

- Spongia(スポンジア)

海綿、声枯れ、咽頭部の痛み、収縮して乾燥する、咽頭部がふさがれたような感じで窒息感がある、咳のせいで眠っていても目が覚める、スポンジを口に当てて呼吸をしているような感覚、夜に悪化、頭を高くして横になると好転、食べることで好転、ひどい動悸、呼吸困難、夜中に窒息感、死ぬんじゃないかという恐怖で目が覚める

捻挫・打ち身

- Arnica(アルニカ)

爆風で吹き飛ばされたり、転んだりしたときの打ち身、重いものを持ったり、捻挫したときの筋肉の怪我、使いすぎ、使い痛みからくる筋肉疲労、触られることを非常に嫌う、頭を低くして横になると好転

- Hypericum(ハイペリカム)

神経の集中しているところ、手の指、足の指、尾てい骨、肘などの怪我、しりもちをついたり、ドアに指を挟んだり、足の指にものを落としたり...触られると悪化

- Bryonia (ブライオニア)

関節の近くの怪我に良い、腫れたり伸びたり、ちょっとした動きで痛みが増す

- Ledum (リーダム)

足首の捻挫、もしくは捻挫しやすい人、中々青あざが取れない人、怪我した部分がしびれたり冷たく感じたりする、冷やすことで好転

- Rhus-tox (ラストックス)

捻挫、打ち身、筋肉、筋の痛み、重いものを持ち上げたり、高いところのものを取ろうとして腕を伸ばして捻ったときなど、分娩時の女性の骨盤、腰痛、動き始めが悪く、動き続けていると良くなる。Arnicaの後に使うことも良い

- Ruta(ルタ)

使いすぎ、使い痛み、筋、腱の疲労、手首—腱鞘炎など、眼精疲労、
脛にも良い、横になること、冷たい湿った天気で悪化



中耳炎

- Aconite (アコナイト)

すぐ悪化する、乾燥した冷たい風にあった後になることが多い、耳の中が真っ赤、耳を触ると熱い、鋭い痛み、音に敏感、落ち着かない、不安、恐怖感、死ぬんではないかとおびえる、喉が渴いて冷たいものを飲みたがる、喉の渴きはヒリヒリ焼け付くような感じ、耳を手で覆うようにして痛みに泣き叫ぶ。鼓膜を見ると無傷

- Belladonna (ベラドンナ)

突然始まる、冷たい隙間風が頭に当たるとなる、耳の中がうっ血している感じ、頭が熱く身体が冷たく耳が赤い、顔も赤くテカテカした感じ、ズキズキががんがんとするような痛み、右耳に出ることが多い、熱があるすれば、高熱、熱のせいか幻覚を見る、敏感になる、動くこと、

夜・音・光で悪化、座位、休息で好転

- Chamomilla (カモミラ)

耳が赤く熱くなる、耳の神経に影響するような感じ、非常な痛みで子供は泣き叫ぶ、イライラしてこわがり落ち着かない、あやそうとしても難しい、どうしたいのか本人もわからない、方頬が赤く、方頬が青白い、乱暴に抱っこされたい、耳鳴り。喉が渴く、歯が生えることから耳が痛いことがある、冷たい空気と触られることで悪化、冷湿布で好転

- Hepar sulph (ヘパーサルフ)

痛みに過敏、感情的なことを除いて他にこれといった症状が無いときに使う、耳は、非常に触られること、寒さに敏感、温めたい、イライラする、癩癩もち、痛みは針でつつかれるような感じ、痛みは、クリーミーで白くねとつとした感じ、臭いがある、汗をかくが、それで楽にはならない、耳や頭を覆いたくなる、喉が渴く、隙間風や冷たい空気、包まれないこと、触られることで悪化、頭をくるむこと、湿った天候で好転

- Mercurius (マーキュリー)

子供の中耳炎、慢性の中耳炎でよく使われる、Hepar-sulphの後に使うことも多い、衝動的、だるい、好き嫌いが激しい、膿は糊のようにべとっとして臭う、血が混じることもある、耳の中で脈打つ音が聞こえるよう、痛みが歯や喉から移ってくる、リンパ腺の腫れは喉の痛みもある、口臭、塩気や金属的な味ができる、ヒリヒリ燃えるような感じ、つつかれたような感じ、熱いことと寒いことどちらも悪化、鼻をかむことで好転、耳の後ろに発疹、大量の汗、汗をかくことで好転、喉が渇く

- Pulsatilla (プルサティラ)

なにを上げてよいかわからない、子供の場合などに良い、風邪の後の中耳炎、症状が変わりやすい、痛みは夜に悪化、昼間は痛がらない、ベッドの中

で暖かくなると悪化、冷やしたり、外気に当たると好転、分泌物はドロットしていて黄色から黄緑色、喉は渇かない、穏やかで泣き虫の子供、しかし痛みでかなり愚図る、愛情を掛けられたり抱っこされたりで好転

花粉症

- Euphrasia (エフライジア)

大量のピリピリした鼻水、涙と羞明(くしゃみが伴う場合あり)、鼻孔の前後から粘液を分泌、咳と痰を伴う大量の流れる鼻水、鼻の内側の痛み、ゆるい咳と共に大量の粘液と気管支からのラ音、日中に悪化、夜はそれほどでもない、目に最初に出る、目からヒリヒリする分泌物、鼻孔からの無刺激の分泌物 (Allium cepaと反対)

- Allium cepa (アリウムセパ)

大量の水っぽい鼻水と目からの分泌物、鼻水がなれる、焼けるようにヒリヒリする、目からも無刺激の分泌物が流れる

- Mix pollen (ミックスポーレン)

いろいろな花粉から作られたレメディー、花粉症全般の症状に対応

副鼻腔炎

- Calc carb(カルカーブ)

突然のひどい流れるような鼻水、鼻から水が滴る、くしゃみ、頭部の熱感、口の乾燥、寒気と熱感が交互、鼻の根元が痛い、首が凝る、風邪をひきやすい、後鼻のカタル、不活発、夜に鼻が乾燥し日中は湿る、濃いドロツとした分泌物、血が混じる、鼻が腫れる(特に根元)、

頻繁に症状が出たり消えたりする、顔の骨のひどい痛み

- Oscillococcinum(オキシロコチナム)

鼻カタル,鼻づまり、くしゃみ、鼻からの漿液性の分泌物、粘膿性の分泌物、鼻声、失声症、乾いた痛みのある咳、下部から聞こえてくる湿った咳と粘膿性の痰、

- Silicea (シリカ)

激痛、鼻の中がかきむしられるような、このような感じ、右の頬骨が引っ張られるような感じ、前頭部に痛み、鼻窩の拍動する痛み(前頭部の痛みを起こす原因)、鼻先が圧迫に敏感で堪え難いほどの痒み、

カタルから自由になれない